

【全体概要】

異常高温等といった気候変動にも対応できる次世代の温州みかん栽培技術体系の確立に向け、気象観測装置(KOSENウェザーステーション)及びデータ駆動型かん水システムの連動による根域制限栽培体系のモデル実証を行う。

新品種・新技術等の概要

根域制限栽培と気象観測装置のクラウドデータと連携して駆動するマイクロスプリンクラー及び点滴かん水装置を組み合わせることで、厳しい気象条件下においても、その影響を最小限に抑え、安定的に高品質果実生産が実現できる温州みかん栽培技術体系を確立する。

マイクロスプリンクラー

根域制限栽培

KOSENウェザーステーション

実施体制図

紀州地域農業改良普及センターが中心となり、農業経営者、県研究機関、県市町行政担当課、実需者などの関係機関間の調整や事業進行管理を行う。実需者はJA伊勢、JA全農みえ。技術指導において、農業革新支援専門員と連携する。

三重県 関係機関の総合調整、技術指導

農業経営者
JA温州部会

栽培技術確立

市町協議会
営農連絡会

生産振興・事業対応

JA伊勢
JA全農みえ

生産販売対応

主な取組内容

- 現地実証圃の設置（根域制限栽培1戸10aで環境データ収集、マイクロスプリンクラー・点滴かん水装置の設置）
- 技術体系の実効性等を調査（内容：葉色調査、その他生育調査、他府県事例及び栽培状況調査等）
- JA伊勢、JA全農みえを交えて技術体系に関する検討会を開催

実績と今後の展開

根域制限栽培 2戸(R3)→2戸(R4)
気象観測装置・スプリンクラー 3戸(R3)→4戸(R4)
若手生産者が当該栽培体系に興味を持ち、R5年に新たに導入を計画している。
気候変動に対応し、高品質かつ出荷量を維持していく産地づくりを目指し、導入の手引きやモデル園地として情報共有を行い関係機関と共に普及に取り組んでいく。